

科目名 (科目番号)		総合演習 (時間割参照)	教員名	臨床検査学科長 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	演習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要		総合演習は、1年次からこれまでに学習してきた国家試験に関わるすべての科目の総まとめの科目である。それぞれの授業項目について、4年次に開講されている必修科目、選択科目、特別講義などを通して、基本的知識を身に付けたか否かを各担当教員が小テスト等で評価し、不足の部分があれば補ってから総合演習の期末試験に臨むように指導する。							
目的・目標		目的:卒業後に臨床検査技師として医療分野または関連分野で活躍できるようにする。 目標:臨床検査技師国家試験に出題されるすべての科目について、基本的知識を整理し、覚えておくべきものは暗記し、過去に出題された問題、模擬試験の問題、各教員が作成した練習問題などを使って、十分に合格が見込める力をつける。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	免疫検査学		到達目標:臨床免疫学・免疫検査学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:臨床免疫学・免疫検査学の基本事項。(柴山)					
	2	輸血・移植検査学		到達目標:医用工学総論の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:医用工学総論の基本事項。(柴山)					
	3	臨床検査・医用工学総論(1)		到達目標:輸血・移植検査学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:輸血・移植検査学の基本事項。(稲田)					
	4	臨床検査・医用工学総論(2)		到達目標:臨床検査医学総論の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:臨床検査医学総論の基本事項。(稲田)					
	5	臨床化学		到達目標:臨床化学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:臨床化学の基本事項。(當銘)					
	6	解剖学・病理組織細胞学		到達目標:解剖学・病理組織細胞学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:解剖学・病理組織細胞学の基本事項。(當銘)					
	7	臨床血液学(1)		到達目標:臨床微血液学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:臨床微血液学の基本事項。(山口)					
	8	臨床血液学(2)		到達目標:臨床微血液学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:臨床微血液学の基本事項。(山口)					
	9	医動物学		到達目標:医動物学の基本事項を理解し、説明できる。 学習内容:医動物学の基本事項。(鴻巣明日香)					
	10	臨床微生物学		到達目標:臨床微生物学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:臨床微生物学の基本事項。(鴻巣麻子)					
	11	臨床生理学(1)		到達目標:臨床生理学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:臨床生理学の基本事項。(飯田)					
	12	臨床生理学(2)		到達目標:臨床生理学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:臨床生理学の基本事項。(飯田)					
	13	公衆衛生学		到達目標:公衆衛生学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:公衆衛生学の基本事項。(窪田)					
	14	臨床検査医学総論		到達目標:臨床検査医学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:臨床検査医学の基本事項。(窪田)					
	15	遺伝子検査学		到達目標:遺伝子検査学の基本事項を理解し説明できる。 学習内容:遺伝子検査学の基本事項。(伊藤)					
成績評価の方法・基準		4年次に開講されている国試関連科目への取り組み状況と成績に基づいた各教員による事前評価、総合演習第1ステージ試験(第1回、第2回)と総合演習第2ステージ試験の点数を総合して判定する。							
教科書		各科目の教科書							
参考図書		国試過去問問題集、各教員が配布する教材等							
教員からのメッセージ		この科目は、これまでに学んだ多くの知識が理解不十分だったり忘れられていたりしているのを再生して、臨床検査技師になるために必要・十分なレベルに習得することを目指しています。したがって、国試関連のすべての科目を総合した演習科目であり、他の必修ではない科目への取り組み状況や成績も評価に含まれることを認識して下さい。							